

全国高校生 鉄道SUMMER CONFERENCE 【鉄サマ】キックオフイベント

全国高校生地方鉄道交流会は、秋田内陸縦貫鉄道沿線地域活性化を目指して、2012年8月の第1回交流会開催に始まり、2026年8月に奈良県王寺町での開催で15回を迎えます。節目の時期を迎え、「全国高校生鉄道SUMMER CONFERENCE」・[鉄サマ]と名称変更し、「鉄道を通じて高校生の社会性の向上・キャリアデザイン構築に寄与する」ことを目標に、鉄道業界に限らず、広く運輸業界全体にわたり、研究者、文筆家、地方公共団体の方々との協力のもと、鉄道・物流・教育・業界研究に関わるイベントや勉強会・研究会を企画して参ります。



**鉄サマ
キックオフイベント**

「鉄道を通じて高校生の社会性の向上・キャリアデザインの構築に寄与する」事をミッションに 鉄道を基軸に地域活性化を考え発表する3日間の夏の大会に加え、新たに 鉄道・教育に関するイベント・勉強会を企画して参ります。

■ 高校生の活動紹介
◎芝学園 芝中学校・芝高等学校
◎福島工業高等専門学校
◎成城中学校・成城高等学校

■ 講演
◎鉄道の歴史、技術・ロマンの伝承
一般社団法人CARB
◎かつて沖縄を走っていた鉄道の歴史とこれから
与那原町立軽便与那原駅舎
◎日本の物流を支える鉄道貨物輸送網
日本貨物鉄道株式会社 (JR貨物)

・参加費無料・予約不要・オンライン視聴可・一般聴講可 (大学生・社会人等)
※9時30分まで会場への予約・受付、オンライン視聴映像の方は事前にメールにてお申し込みください。

主催：一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会
共催：株式会社スリージェイトラベル
協力：一般社団法人CARB、与那原町立軽便与那原駅舎、日本貨物鉄道株式会社、有限会社アクアプレス

**2026 01 18
SUN.
13:00~**

世田谷産業プラザ 3F 大会議室
東京都世田谷区太子堂2-16-7

問合せ先 一般社団法人全国高校生地方鉄道交流会 事務局
〒154-0224 東京都世田谷区三軒茶屋2-19-3-202
e-mail: gogochatsutaku@yamanote.com TEL: 03-6822-2835
HP: <http://www.rscsumcon.jp/>

問合せ先 3 J TRAVEL イベント内容は変更になる場合がございます

■鉄サマキックオフイベントの様子は
YouTubeでご覧いただけます！

<https://youtu.be/vOiveVbsUec>



■主催者・共催者挨拶

一社)全国高校生地方鉄道交流会 理事、スリージェイトラベル(株)代表取締役社長 中村泰輔

■地鉄交流会・3Jトラベル/活動紹介

▶資料 https://drive.google.com/file/d/1VwHVkeNHJek6440Sha9k6w3R_Dhaa0KT/view

▶YouTube: 0:00:00~発表 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

■ 高校生 活動紹介

① 芝学園 芝中学校・芝高等学校 交通研究部（東京都）



部員全員参加の総合研究、担当者が各々行う個人研究と、複数の研究形態で、「誰でも使い易い交通機関とは?」「多角的な視点を持つ交通好きをつくるとは!」を柱に、鉄道のみならず、海運・空運・陸運の貨物輸送や物流を広く捉え、各々、熱心に研究活動を行っている事をわかりやすく明確に紹介いただきました。

文化祭では、BVE Trainismを用いて、大井川鐵道の路線データを制作し、運転会が高評価を得ているとの事です！

■ 芝学園 芝中学校・芝高等学校 / 活動紹介

▶ 資料 https://drive.google.com/file/d/1_nKezVJN7n4LM6QwYm1JvojOQYEN7fGx/view

▶ YouTube : 0:17:56~発表 <https://youtu.be/vOiveVbsJec>

■ 高校生 活動紹介

② 福島工業高等専門学校 鉄道愛好会（福島県）



福島県小名浜の栄町駅と江名駅を結んでいた江名鉄道をはじめ、常磐炭鉱廃坑に伴い、地元福島県いわき市周辺に存在する鉄道廃線遺構の見学会や探索研究活動の紹介、2025年11月29日(土)・30日(日)に開催された「ふくしま鉄道博」で、磐越東線の魅力をより多くの方に知っていただくために磐越東線活性化対策協議会ブースで「ふくしまローカル鉄道利活用サミット」に登壇し活性化案をプレゼン。さらに、2月11日開催の「鉄活セミナー」に登壇決定！また、小学生向け出前講座などを行い、地域とのコミュニケーションづくりに力を入れている事を伝えてくれました。

■ 福島工業高等専門学校 / 活動紹介

- ▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/11KSxmut7ITjAuPjeKc-qorzndbycdtOW/view>
- ▶ YouTube : 0:24:30~発表 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

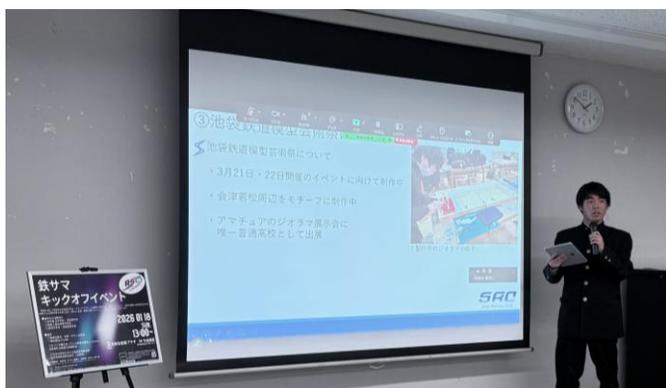
■ 高校生 活動紹介

③ 成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部（東京都）

成城鉄道研究部について

成城中学校・成城高等学校 鉄道研究部

SRC
Seijo Railway Club



夏の高校生鉄道模型コンテスト、秋の文化祭大ジオラマ展示、春の池袋鉄道芸術祭に向けて鉄道ジオラマ制作をリードするジオラマ班と、交流会でのプレゼン発表に向けての活動をリードする活性化企画班に分かれて、活発に議論を交わしている事。

部誌「連結器」には、旅行記をはじめ、どんな研究も自由に投稿できること、写真がより綺麗に見る事ができること、SDGs観点から、紙での発行を止め ネット上のみで公開していることを報告してくれました。

■ 成城中学校・成城高等学校 / 活動紹介

▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/1IOQvoDJfx6hJt8Bny34nP1kOljWX-1No/view>

▶ YouTube : 0:32:29~発表 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

■ 講演 ①

一般社団法人CARB 代表理事 今井美槻 氏

「ふるさと・首都圏の電車と記憶を後世に」 ～引退電車活用の現状と未来～



ふるさと・首都圏の電車と記憶を後世に

～引退電車活用の現状と未来～

2026.1.18

一般社団法人CARB
代表理事 今井美槻



■ 一社) CARB <https://carb.or.jp/>

▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/1GbcJOmCPPwCsikbls82nwcfteUJThS6M/view>

▶ YouTube : 0:38:34～講演 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

幼少の頃、引退する電車を前に、「どうしたら電車を残せるの?」と問うた折に、「お金と土地があれば・・・」と答えてくれたある人の言葉が、現在の活動のきっかけであったとのこと。
車両保存を目的とする団体は幾つもあり、人それぞれに考え方も違う。気長に話しをして行くことが大切で、それぞれの立ち位置を認めることも大切です、と話してくださいました。
また、電車を保存することが本業やゴールではなく、次世代への継承・管理体制の構築・将来への利活用促進、縁の地への帰還推進、地域活性の4つを目指し、先人の思いや情熱に技術進歩を掛け合わせれば可能であり、夢を実現するには、広い範囲の視点が不可欠とのお話でした。

■ 講演 ②

与那原町立軽便与那原駅舎 展示資料館 学芸員 喜納大作 氏

「沖縄県鉄道の歴史と交通の現状」

沖縄県鉄道の歴史と
交通の現在

喜納 大作 (与那原町立軽便与那原駅舎展示資料館)



■ 与那原町立軽便与那原駅舎展示資料館 <https://www.yonabaruekisha.com/>

▶ 資料 <https://drive.google.com/file/d/1Kv6HIGnAt34QmJrmcMkjARXwec2cQMqA/view>

▶ YouTube : 1:11:51～講演 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

軽便鉄道と聞くと小さな可愛いサトウキビだけを運んでいた鉄道と思いがちだが、サトウキビだけを運んでいたわけではなく、多くの人が通勤通学に利用し、日常生活に欠かせないものだった。1944年10月10日の那覇空襲から沖縄戦に入り、鉄道は完全に破壊され、それ以降、鉄道の復活は果たされていないこと。鉄道が存在しないことを注意深く観察すると、鉄道の果たしているさまざまな役割が見えてくるとの論説で、沖縄新都心ゆいレールおもろまち駅近郊の大規模商業施設の土地利用図を目的別に彩色したものを提示しながら、駐車場関連施設の割合が全面積の41%にも上ることを客観的に伝えていただきました。自家用車やバスが多く利用されると道路の渋滞による速達性阻害ばかりでなく、道路用地・駐車場用地が不可欠となり、結果、大きな社会経済的損失を産んでいること。県内の交通渋滞や公共交通の不便さといった課題を解決し、県民の誰もが快適に移動でき、日々の生活を安心して過ごすことのできる沖縄を見据えた、新しい交通のあり方を模索する「次世代交通ビジョンおきなわ」構想の取り組みについてもお伝え頂きました。

■ 講演 ③

日本貨物鉄道株式会社 総務部 秘書グループ グループリーダー 鈴木晃一 氏
「JR貨物のご紹介」



■ 日本貨物鉄道（株） <https://www.jrfreight.co.jp/>
▶ YouTube : 1:39:53～講演 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

映像資料をまじえ、「JR貨物紹介」の講演をいただきました。

東京貨物ターミナルの絶妙な設置位置の解説に始まり、JR貨物は、一日あたり400本の貨車が列島を駆け巡り、一編成列車あたり650トンの貨物を輸送、これは10tトラック65台分に相当。コンテナを本線上の列車から直接積卸しそのまま発車できる「E and S方式（着発線荷役作業）」駅構内での複雑な入換作業が要らないため、大幅なリードタイム短縮とコスト削減が図れることから、今後も積極的に取り入れていくこと。梅田貨物ターミナルが2013年3月に廃止され、吹田貨物ターミナルがその任務を引き継ぎ、「うめきた大規模再開発」に繋がっていること。トレース・アビリティの進歩が著しく、コンテナ位置情報をGPSで管理することにより僅か数センチの誤差範囲で場所把握ができることやトラック情報アプリの活用で積替え作業の省力化省時間化。ISO対応コンテナ車の開発。レールゲート構想では、物流生産性向上、安全・安心の物流革命、グリーン社会の実現、地域の活性化の4つの目標達成を目指していること。

これら一連の努力目標達成の動きを「モータル・シフト」と呼んでいたが、様々な分野との協力・協働活動が必須であることから、「モータルコンビネーション」と呼んでるなど情報満載。すなわち、調べてみたくなる情報満載の講演をいただきました。

■ 地鉄交流会OB講話

芝学園 芝中学校・芝高等学校 交通研究部 OB 田中颯汰 氏

自己紹介

- ▶ 田中 颯汰 (たなか そうた)
- ▶ 芝学園OB (115回生 : 2014~2020在籍)、交通研究同好会 (当時) 所属

- ▶ 地鉄交流会への参加経歴
- ▶ 第4回 (2015年、三陸鉄道) →芝学園としての参戦初年
- ▶ 第5回 (2016年、のと鉄道)
- ▶ 第6回 (2017年、鹿島臨海鉄道)
- ▶ 第7回 (2018年、東京モノレール)
- ▶ 第14回 (2025年、宮城県美里町) →OBとして参加



地鉄交流会における実績

- ▶ 第5回 (2016、のと鉄道) : 写真部門車両整備士賞
- ▶ 第7回 (2018、東京モノレール) : 企画部門優勝



ボランティアスタッフとして今回、お手伝いいただきました。

そして、OBの立場から、交通研究同好会を立ち上げた頃の話、地鉄交流会には、第5回「のと鉄道交流会」から参加し、第9回「東京モノレール交流会」での企画案プレゼンテーションに情熱を傾けたこと。現在は、軌道モーターカーロータリー(MCR)の業務に関わっておられ、鉄道の安全を支える仕事に携わっているとの事。

そして、今年度「鉄サマ」に参加される、また参加を考えていらっしゃる高校生諸君に、これからの企画案には なにが求められて、なにが必要なのか、OBの立場から アドバイスをいただきました。

■ 地鉄交流会 OB 田中氏から後輩たちへメッセージ

- ▶ 資料 https://drive.google.com/file/d/1IAqg8ZuGLUeTqZz2H0sZEhok90_mr3oZ/view
- ▶ YouTube : 2:11:29~講演 <https://youtu.be/vOiveVbsUec>

【鉄サマ】キックオフイベントの様様



【鉄サマ】キックオフイベントの様様



【鉄サマ】キックオフイベントの様様

